

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年1月16日	
明治大学の所属学部・研究科	農学部農学科	
留学（渡航）した時の学年	2年生	
帰国年月日	2022年12月27日	
明治大学卒業予定年月	2025年4月	
留学先大学について		
留学先国	アメリカ合衆国	
留学先大学	ネバダ大学リノ校（日本語名） University of Nevada, Reno（現地言語名）	
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語	
留学期間	2022年8月～2022年12月	
留学先大学で在籍した学年	2年生	
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名（日本語）： （現地言語での名称）： <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他：	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他：	
学年暦 記入例：1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期：1月下旬～5月上旬 3学期：	2学期：8月下旬～12月下旬 4学期：
学生数	2万人程度	
創立年	1874	

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料		円	交換型のため、明治大学の学費のみ。
宿舍費	3630	円	Sieera hall triple
食費	2531.99	円	Meal plan Gray の場合。
図書費	32.94	円	
学用品費	613	円	ジムなど施設維持費など。利用に関わらず支払い必須です。
携帯・インターネット費	79	円	使い放題の SIM 代。もっと安い大学からの支給 SIM もあり。
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	about 3000	円	サンフランシスコ、ロサンゼルスなどに旅行しました。
被服費	about 100	円	2, 3 着衣服など購入。
医療費		円	学内に無料の Health Center あり。
保険費		63510 円	形態：明治大学の加入必須のもの。5 カ月分。
渡航旅費		378100 円	
ビザ申請費	220	25590 円	SEVIS Fee、申請料、プレミアム輸送料など
雑費	about 1000	約 50000 円	寝具、デスクライト、薬、コンタクトレンズ、土産雑貨など
その他		約 35000 円	予防接種：おたふく 1 回、t-dap 1 回、髄膜炎 1 回
その他		円	
合計	11206.93	552200 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地：羽田空港 目的地：リノタホ空港 経由地：サンフランシスコ	
復路 出発地：リノタホ空港 目的地：羽田空港 経由地：ロサンゼルス、サンフランシスコ	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社：ANA 料金：378,100	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： 料金： 復路 航空会社： 料金： ∴合計：	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店 (店名：) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット (サイト名：) <input type="checkbox"/> その他 ()	

滞在形態関連

1) 種類 (留学中の滞在先) (例: アパート、大学の宿舎など)

 学生寮 (寮の名前: Sierra Hall) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

 個室 相部屋 (同居人数 3)

3) 共有部分

 バス トイレ キッチン (自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

寮に入ることは決めていたので、あとは大学を通して振り分けてもらいました。各寮の情報は、ホームページを参照したり先輩から話を聞いたりしました。

5) 感想: (滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

Sierra 寮は、他の寮に比べて古くて暗いですが、住んでいけば気にならなくなります。入居当初は部屋の不具合もいくつかありましたが、その場合はすぐにフロントに相談すれば対応してくれます。部屋がとにかく暗いので、デスクライトは必須です。空調は、音がうるさいことを除けば問題なかったと思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

 なし
 あり (治療を受けた場所: 大学のヘルスセンター)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

 なし
 あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

日頃の防犯対策としては、夜に1人で出歩かないようにしたり、私物を長時間置きっぱなしにしないようにしたり、基本的なことを意識しました。情報収集は、主に大学からのメールを読んでいました。一度、部屋で使っていたバスマットを乾燥機にかけて放置して、盗まれたことがありました。フロントに相談しましたが見つからなかったので、新しいものを購入しました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネット接続は安定していて、時間帯関係なく、問題なく使えました。大学構内も同様でした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で身内に譲ってもらった現金と、Gaica、クレジットカードを併用していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

爪切り。日本にしかない愛用の日用品など。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入）

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由：)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 履修の制限があった：	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Composition I Intrnl & Mltlng	構文1 インターナショナル&マルチリンガル
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr. Jenna A. Altherr Flores
授業内容	英語を用いて、目的に合わせた様々な文章の作り方を学び、そのレビューをします。
試験・課題など	毎授業ごとに課題があり、それに加えて Major project という中間および期末課題があります。課題は 300～500words で、Major project は 1000～2000words です。
感想を自由記入	課題がかなり多く何度も眠れない夜を過ごしましたが、学びは多いです。農学部所属ということもあり、普段はなかなか触れない分野での教養が深められたと思います。特に APA 形式での引用の練習は、実用的でためになりました。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Livestock Product		畜産学	
科目設置学部・研究科			
履修期間	1 学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Tracy Shane		
授業内容	米国で飼育されている主な家畜に関する、全般的な知識を習得します。		
試験・課題など	中間テストが 3 回と期末テストがあります。すべてマークシート式です。		
感想を自由記入	鳥、豚、牛に加え、日本では知る機会の少ない馬、七面鳥、ヤギ、ヒツジについても学び、大変興味深かったです。最初にグループを作り、そのグループで頻繁にグループワークがあります。グループワークの内容は難しくないのです、話す勇気さえあれば十分参加できます。テストは範囲が多く、すべて網羅しようとすると辛い部分があります。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Principles of Agronomy		農学の原則	
科目設置学部・研究科			
履修期間	1 学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Juan Solomon		
授業内容	米国の畜産以外の農業について、全般的な知識を習得します。		
試験・課題など	中間テストが 3 回と期末テストがあります。すべて記述式です。		
感想を自由記入	原則については日本で学ぶことと共通する部分も多く、内容を掴みやすかったです。しかし教授の英語が、発音、語彙ともに少し難解な部分があり、記述式のテストにも相応の対策が必要です。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Intro to Neuroscienc	神経科学入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Thomas Kidd
授業内容	神経科学について、それがどのような学問であるかを、ゲストスピーカーによる講義も交えながら学びます。
試験・課題など	中間テストが 3 回と期末テストがあります。中間テストは 3 回あるなかで、成績のいい 2 回分が成績に加算されます。
感想を自由記入	入門科目なので、かなり余裕をもって授業やテストを受けることができました。高校生物程度の神経系に関する知識があれば、むしろアドバンテージになります。その知識を基にした、人間の様々な生理学的現象について学ぶことができ、大変興味をそそられます。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください（下記 2 以降は記入不要）
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません） ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 （例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。） ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	明治大学入学
	8月～9月	語学試験の勉強
	10月～12月	語学試験受験。出願・選考。
留学開始年	1月～3月	選考結果発表。オリエンテーションなど。
	4月～7月	予防接種。ビザ申請・取得。滞在先確保。航空券取得。明治大学の研究室見学。
	8月～9月	渡米
	10月～12月	帰国
留学/帰国年	1月～3月	帰国後の書類作成
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

TOEFL の点数や、英語圏かつ農学関係の科目が豊富な大学で絞り、その中で過去の留学体験記から十分な情報が得られるところ、その情報を踏まえて、生活に極端な不便がなさそうな場所を選んだ結果、ネバダ大学リノ校に留学することにしました。TOEFL のスピーキングテストは大体半分くらいの点数でしたが、最も不安だった英語でのコミュニケーションは、日本でしっかり練習してきたこともあってそこまで苦労しませんでした。コミュニケーションが不安な方は、まずはリスニング能力を伸ばし、会話は聞き取れない場合やうまく言葉が出てこない場合のフレーズを確認しておくといと思います。会話にコミュニケーション不可能なほどの支障がなかったことと、また日本人留学生のコミュニティがあったことから、留学中のうつもほとんどなく過ごせました。英語を学びに行くのに日本人のコミュニティに入るのには抵抗があるかもしれませんが、ストレスを軽減するのにかなりの効果があることは知っておくといと思います。また事務的なことは、当たり前ですが前もってこなすようにしてください。準備が遅れると、求める条件が得られなかったり余計なお金がかかったり、最悪留学が不可能になることもあります。必須事項以外にも、事前に大学のイベントやコミュニティ、周辺施設について調べておくのも、役に立つと思います。リノは、砂漠に囲まれた比較的小さな街で、夏の日差しと冬の寒さの厳しさは、かなり体に堪えます。しかし大学周辺は多くの学生が出歩いているので、治安はよいほうだといと思います。バスで行ける範囲に商業施設はありますが、バスの遅延や乗り換えで1時間程度かかるので車で行くのがベストです。いろいろな人に出会ってみて、車を持っている人を探してください。探し出せさえすれば、留学生という境遇もあってか、皆快く「いつでも連絡して」と言ってくれます。このように、物資も少なく地理などに明るくない留学生というものは、いろいろな人に助けてもらう機会がたくさんあります。帰国時にお世話になった人に渡せるちょっとしたプレゼントを、日本からあらかじめもってくることをおすすめします。留学には決して安くはない額のお金がかかります。その元をとると思って、どうぞ積極的に、何事にもチャレンジしてみてください！また困ったことがあれば、私を含めた留学経験者や国際事務室などを大いに利用して、はやめに疑問を解決してください！